

平成29年 2月28日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL、東ヨーロッパ、アフリカ及び南アメリカ市場への進出拠点としてキプロス共和国を活用

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、東ヨーロッパ、アフリカ及び南アメリカ市場への進出拠点として、キプロス共和国に投資ファイナンスサービス会社を設立することを決定し、その内容をプレスリリースにて公表いたしましたので、日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

タイ証券取引所(SET)上場企業でDigital Finance事業を展開するGroup Lease Public Company Limited(以下、GL)は、東ヨーロッパ、アフリカ及び南アメリカ市場への進出拠点として、キプロス共和国に投資ファイナンスサービス会社を設立することを決定した。

キプロス共和国は、その戦略的重要性から、GLの今後のグローバル拡大における踏切台として選ばれた。キプロス共和国は、欧州連合(EU)加盟国であり、税制面の条件が良いことで知られ、法的及び財務的の制度がしっかり整備されている点において、GLにとって今後のグローバル展開や資金調達を中心として活用するのに理想的な場所であると判断された。

GLは、2016年度において、前年の2015年度から82.34%増の10億6千万タイバーツの年間最高益を記録した。そしてその後、この戦略的な計画が発表された。GLは、本日2月28日に監査済財務諸表を発表、事前に開示した決算速報値と全く同じ数値での決算発表となった。

GL会長兼CEOである此下益司氏は、以下のように述べた。「2016年度における最高益達成、約1倍の低DEレシオで健全なバランスシートにより、我々は、新しい市場への進出を更に推し進める。アフリカや東ヨーロッパへの進出に加えて、南米市場への進出を優先して進める。」

「我々は、ブラジル及び他の南アメリカの国々におけるM&Aやファイナンスサービスの展開の活動資金として、ブラジル最大規模の銀行の一つから30百万米ドルの融資枠を得た。」と此下氏は加

えて発表した。

ワールドクラス企業への上進を果たすための積極的な海外進出戦略が成功し、これまでにタイからシンガポール、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インドネシアそしてスリランカの6ヶ国への進出を果たして来た。

此下氏は、続けて以下のように説明した。「GLは、これまで2年間、キプロス共和国にてトライアルベースで短期間投資やアドバイザーサービスを行ってきた。そしてその結果、キプロス共和国に新しい会社を設立することを決定した。我々の事業をサポートする観点において、キプロス共和国は、ファイナンスや投資を行う場所として、また世界中から資金調達を行う場所として、最も適した場所だと確信した。」

キプロス共和国は、欧州連合（EU）加盟国であり、税制面の優遇だけではなく、世界中の多くの国と租税条約を結んでいるため税務面及び法的面においても十分に整備されていることから東ヨーロッパやアフリカの国々へ投資やファイナンスサービスの展開拠点として非常に知られている。

「我々は、東ヨーロッパとアフリカ市場での事業拡大を加速させるためにキプロス共和国に投資ファイナンスサービス会社を設立することを決定した。既に、東ヨーロッパ及びアフリカの国々の多くの企業からファイナンス、リース及びマイクロファイナンスサービスでの連携意向について、コンタクトを受けている。」と述べ、最後にキプロスでの新会社は、まもなく2-3百万米ドルの資本金にて設立予定である、と付け加えた。

以 上